

所属・職・氏名	岩手大学工学部 応用化学科 展開化学 助教授・南 一郎
シーズ名	排気ガス中の有害成分を削減するエマルジョン燃料
シーズの概要	<p>軽油や重油などは単位質量あたりの熱量が高いものの、完全燃焼しにくいので燃焼に伴って黒煙を生じることが多い。また、内燃機関用の燃料に用いると排気ガス中の窒素酸化物 (NO_x) 濃度が上昇する。この黒煙と NO_x を同時に低減する環境に優しい燃料としてエマルジョン燃料を開発した。この燃料は市販の軽油または重油に添加物を加えて容易に製造できる (図1)。黒煙発生状態の比較を図2 に示した。この燃料はボイラー、ディーゼル発電、ディーゼルエンジンなどの用途に対して特に有効である。</p> <div style="text-align: center;">   <p>図1 エマルジョン生成装置の概略</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市販軽油 エマルジョン燃料</p> <p>図2 市販軽油とエマルジョン燃料の黒煙発生状態比較</p> </div>
その他参考資料	高知新聞記事 (2002 年 6 月 1 日)
共同研究機関・企業	日本ルーブリゾール株式会社
特許(出願)番号	